

2 防犯図記号

2.1 一般的事項に関する図記号

名称	図記号	摘要
埋込型		必要に応じ、図記号の上に円弧を描く。
壁付		必要に応じ、図記号の壁側に棒線を引く。
屋外用		必要に応じ、図記号の上に屋根型を付ける。
警戒区域境界線		配線の図記号より太くする。
警戒区域番号		(1) ○の中に警戒区域番号を入れる。 (2) 必要に応じ、○上部に必要事項、 下部に警戒区域番号を入れる。

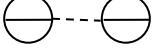
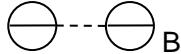
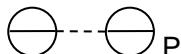
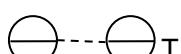
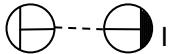
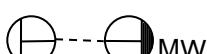
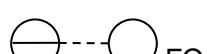
2.2 防犯設備に関する図記号

2.2.1 侵入警報設備関連

名称	図記号	摘要
警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
副警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
入出操作器		必要に応じ、種別を傍記する。 例：カード式 C テンキー式 T キー式 K ダイヤル式 D 指紋式 F 静脈式 VI 顔式 FC 虹彩式 IR
威嚇器	 	必要に応じ、種別を傍記する。 例：ベル B ブザー BZ サイレン S 照明 L 音声 V
検知器（点検知器）		必要に応じ、種別を傍記する。

		例：マグネットスイッチ		M
		リミットスイッチ		L
		シャッター検知器		S
		振動検知器		V
		ガラス破壊検知器		G
		傾斜検知器		T
		金庫検知器		SB

名称	図記号	摘要
検知器（空間検知器）		<p>(1)必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>(2)必要に応じ、同一種別の中の区分を傍記する。</p> <p>(3)必要に応じ、方向を示す場合は矢印を付記する。</p> <p>例：赤外線パッシブ検知器 立体警戒型</p> <p>P/S</p> <p>赤外線パッシブ検知器 面警戒型</p> <p>P/F</p> <p>赤外線パッシブ検知器 スポット警戒型</p> <p>P/SP</p> <p>超音波式検知器 片方向警戒型</p> <p>U/S</p> <p>超音波式検知器 兩方向警戒型</p> <p>U/D</p> <p>ガラス破壊音検知器</p> <p>G</p> <p>マイクロ波式検知器 送受一体型</p> <p>MW</p> <p>レーザー式検知器</p> <p>L</p>

検知器（線検知器）		<p>(1)必要に応じ、検知器を点線で結ぶ。 (2)必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：断線式検知器 </p> <p>引抜き式検知器 </p> <p>テープ式検知器 </p> <p>(3)対向式のものは 投光器 、受光器  を点線で結ぶ。 必要に応じ、種別及び最大設置距離(標準条件)を傍記する。</p> <p>例：赤外線ビーム検知器 </p> <p>赤外線ビーム検知器（反射式） </p> <p>マイクロ波式検知器 送受分離型 </p> <p>光ファイバー検知器 </p>
非常通報スイッチ		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：押しボタンスイッチ </p> <p>クリップ型スイッチ </p> <p>フットスイッチ </p> <p>引きスイッチ </p>
電源装置		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p>

名称	図記号	摘要
自動通報機（自動送信機）		<p>必要に応じ種別、回線数を傍記する。</p>

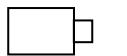
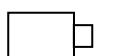
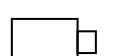
		例：自動送信機 公衆回線 自動送信機 専用回線 自動通報機 音声
区分表示器		必要に応じ、回線数を傍記する。
無線式機器		(1)必要に応じ、種別を傍記する。 (2)必要に応じ、図記号の上にアンテナのシンボルを付ける 例：検知器（ビーム検知器） 赤外線パッシブ検知器 非常通報スイッチ 受信機（無線） 送信機（無線） 中継器（無線）

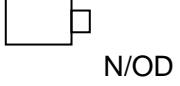
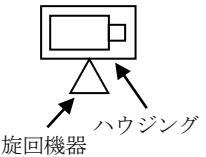
2.2.2 出入管理設備関連

名称	図記号	摘要
識別装置		図記号、種別の傍記例とも、2.2.1 侵入警報設備関連の“入出操作器”と同一とする。
出入管理装置		必要に応じ、種別を傍記する。
電気錠制御盤		必要に応じ、種別を傍記する。

電気錠		<p>必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：通電時解錠型</p>  U <p>通電時施錠型</p>  L <p>瞬時通電施解錠型（自己保持型）</p>  I <p>モーター施解錠型</p>  M
鍵管理装置		

2.2.3 防犯カメラ設備関連

名称	図記号	摘要
防犯カメラ（NTSC 対応）		<p>(1)ドーム型は、次による。</p>  <p>(2)全方位カメラは、次による。</p>  <p>360</p> <p>(3)必要に応じ、種別を傍記する。</p> <p>例：PTZ一体型</p>  <p>PTZ</p> <p>ワイドダイナミック機能</p>  <p>W</p> <p>デイナイト機能</p>  <p>N</p> <p>屋外ハウジング一体型</p>  <p>OD</p>

		(4)機能が重複する場合は、「/」でつなげる。 例：デイナイト機能付き屋外ハウジング一体型 
防犯カメラ (IP-IF 対応)		同上
防犯カメラ (HD-SDI 対応)		同上
防犯カメラ (アナログ HD 対応)		同上
旋回機器		
ハウジング		
モニターテレビ		
PC モニター		
防犯カメラ装置架 (監視カメラ装置架)		
デジタルレコーダー (NTSC 対応)		
デジタルレコーダー (IP-IF 対応)		
デジタルレコーダー (ハイブリッド対応)		
名称	図記号	摘要
デジタルレコーダー (HD-SDI 対応)		

タイムラプスビデオレコーダー (タイムラプスVTR)		
映像切替器		
映像分配器		
映像補償器		
エンコーダー		
デコーダー		
ビデオセンサー		

2.2.4 インターホン設備関連

名称	図記号	摘要
インターホン親機		
ドアホン子機		
モニター付子機		
集合玄関機		必要に応じ、集合玄関機を構成する識別装置の方式・種別を機器一覧表などに注記する。
住宅情報盤		

2.2.5 その他防犯設備関連

名称	図記号	摘要
電子式物品監視装置 アンテナ部		必要に応じ、照合方式の種別を機器一覧表などに注記する。
センサーケーブル		必要に応じ、ケーブル接続可能本数を傍記する。

2.2.6 情報設備関連

名称	図記号	摘要
パーソナルコンピュータ 一		
プリンター		
スイッチングハブ		
ルーター		